

2020 年 1 月 9 日

○ 1月定例所長会見における発電所長挨拶内容

- 所長の設楽でございます。
- 福島第一原子力発電所の事故により、今もなお、大変多くの皆さまに、ご迷惑とご心配をおかけしておりますことを、あらためまして心よりお詫び申し上げます。
- 本日は、新しい年を迎えて最初の会見となります。今年一年、改めてどうぞ宜しくお願いいたします。
- 本日、私からは3点お話しをさせていただきます。
- まずはじめに、新潟県知事・柏崎市長・刈羽村長への新年のご挨拶についてです。櫻井市長・品田村長へは、来週15日にご挨拶をさせていただく予定です。また、花角県知事へのご挨拶につきましては、その翌週の21日を予定しています。社長の小早川、新潟本社代表の橘田、原子力・立地本部長の牧野とともに訪問させていただきます。
引き続き、自治体との信頼関係をしっかり構築してまいりたいと考えています。
- 次に、当発電所の取り組み状況についてです。当発電所では、福島第一原子力発電所の事故の教訓を踏まえ、同じような事故を二度と起こさないという強い決意のもと、設備面での安全対策や運用面での対応力の向上に努めています。
現場では、7号機を中心に耐震強化工事、火災防護対策、内部

溢水対策など様々な安全対策工事を実施しており、引き続き、安全を最優先に着実に工事を進めてまいります。

また、7号機の工事計画に関して、原子力規制委員会による審査を進めていただいております、詳細な説明に努めているところです。その一つとして、地盤の支持性能について説明を行ってきており、昨日行われたヒアリングでは、地上式フィルタベントにおける、地盤の液状化を考慮した耐震性の評価についても説明を行っています。引き続き、審査に真摯かつ丁寧に対応してまいります。

- 3点目は、昨年の全戸訪問でいただいた、地域の皆さまからのご意見についてです。今回の訪問活動では、1万6千件を超える貴重なご意見をお伺いすることができました。内容といたしましては、当発電所の運転に関するご意見をはじめとして、構内におけるトラブルや安全対策に関しましても、多くのご質問やご意見をいただきました。当発電所の安全や業務品質を評価するのは地域の皆さまであるという認識に立ち、引き続き、多様なご意見に真摯に耳を傾け、発電所運営の改善に活かしてまいります。

また、今回の訪問活動には所員全員が参加しましたが、約7割の所員にとって、初めての経験となりました。その結果、多くの所員が「意識・認識を改める機会になった」と回答しており、自らの業務が地域の皆さまにどのように感じられているのか、ご意見をどのように活かしていくのかを自ら考える貴重な機会になったと感じています。

これからも地域の皆さまとの対話の機会を大切に、業務の品質を継続的に高めていくとともに、発電所の情報をしっかりお届けできるよう努めてまいります。

- 本日、私からは以上です。

以 上